



CSR Report 2015

経営理念

1. お客さま第一

三菱製鋼グループはお客さまに、常により高い品質と機能をより安く、心のこもったサービスでおとどけます。

2. 新技術の開発

三菱製鋼グループはより高い技術を追求し、グローバルに競争力のあるものづくりに注力します。

3. 人を活かす経営

三菱製鋼グループは多様な人材が活躍できる職場環境をつくり、働きやすく活力に満ちた明るい企業集団をめざします。

4. 未来への挑戦

三菱製鋼グループはあふれる情熱と創造力をもって、世の中の変化に果敢に挑戦します。

5. 社会への貢献

三菱製鋼グループはコンプライアンス経営を基本とし、環境に配慮した事業活動を通じ、広く社会の発展に貢献します。

目次

会社概要	2
ごあいさつ	3
社会とのかかわり	5

ガバナンス

組織統治

CSR 推進	7
コーポレート・ガバナンス (企業統治)	8
リスクマネジメント	9

公正な事業慣行

コンプライアンス	10
株主・投資家の皆様とともに	11
お取引先様とともに	12

社会性報告

消費者課題

お客様とともに	13
---------	----

労働慣行/人権

従業員とともに (安全と健康)	15
従業員とともに (人材育成・雇用)	18

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とともに	21
----------	----

環境報告

環境

環境マネジメント	23
地球温暖化対策	25
廃棄物等の削減・再資源化	28
環境負荷物質の管理	30

2015年12月発行
本書掲載の記事、写真等の無断転載を禁じます。
©MITSUBISHI STEEL MFG. CO., LTD. 2015

編集方針

作成目的

ステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図るツールとして、報告書を発行いたします。報告内容は、社会的責任に関する国際規格 ISO26000 の7つの中核主題にならない、取り組みを整理して紹介しています。

対象期間

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)を対象期間としましたが、一部対象期間外の内容も含まれます。

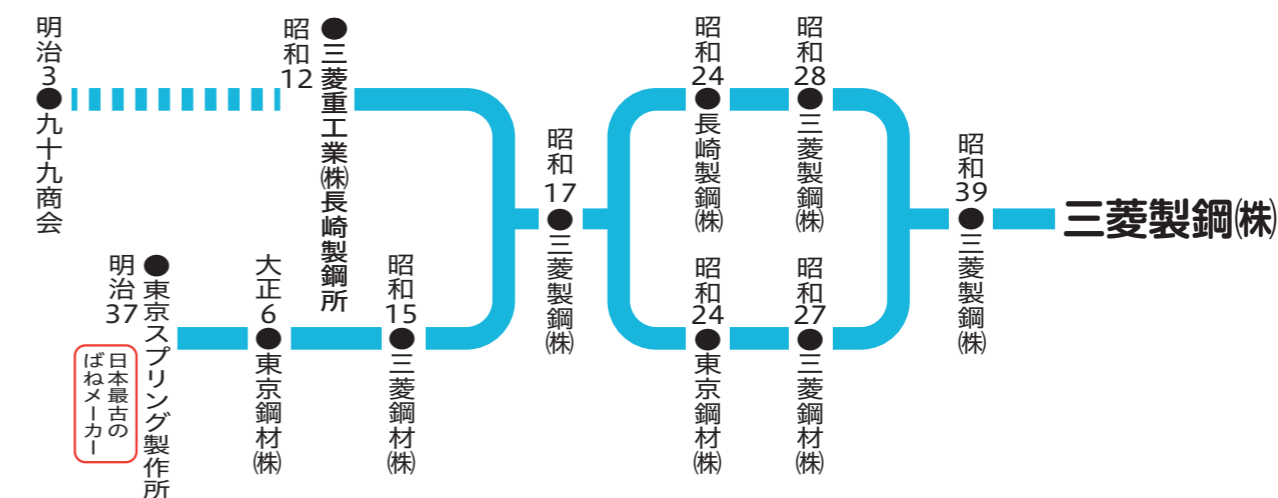
対象範囲

三菱製鋼株式会社を対象範囲としましたが、一部グループ会社も含まれます。

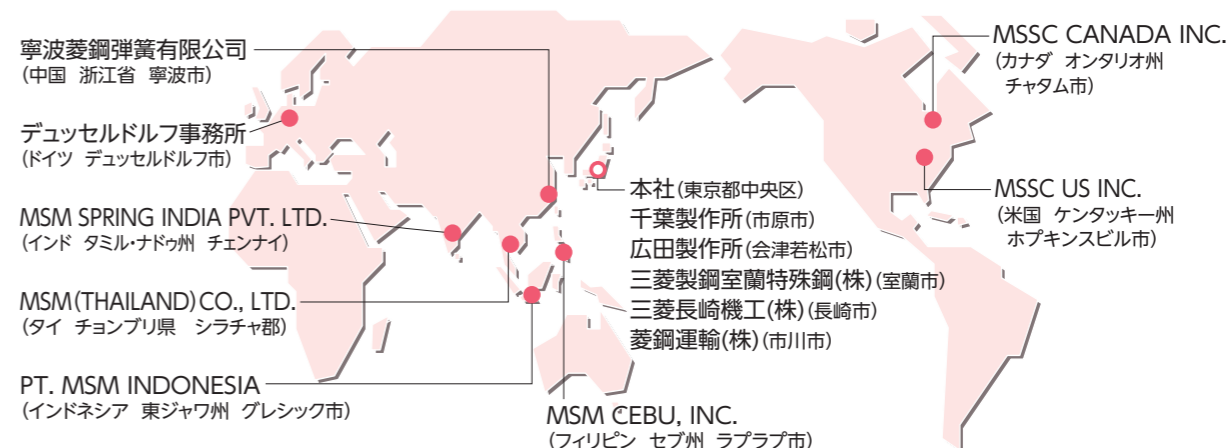
会社概要

会社名 三菱製鋼株式会社
本社 東京都中央区晴海三丁目2番22号
資本金 99億2千4百万円
売上高 1,187億円(連結)(2015年3月期)
従業員 3,606人(連結)(2015年3月現在)

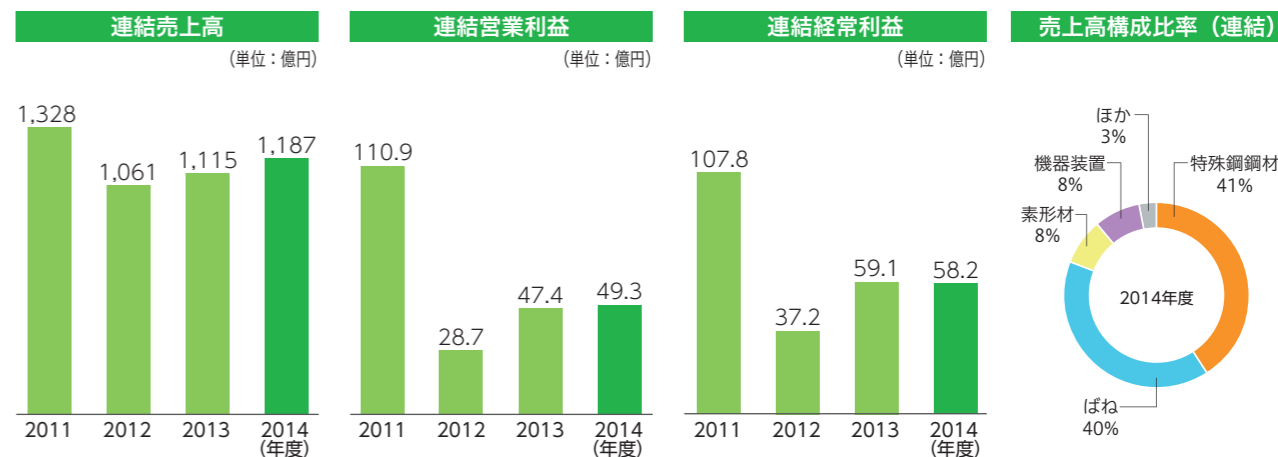
沿革



ネットワーク (国内・海外拠点)



業績の推移





取締役社長

佐藤 基行

ものづくりを通じて持続可能な社会へ

当社グループは、特殊鋼鋼材、ばね、素形材製品、機器装置等の幅広い事業を国内外で展開しております。近年はグローバル展開を積極的に推進し、国際競争力の強化を図っております。こうした事業展開を進める中で、CSRについてもグローバルな視野で人権や環境をはじめとするさまざまな課題と真摯に向き合い、ものづくりを通して持続可能な社会に貢献してまいります。

また、地球温暖化の影響も指摘される異常気象によって、甚大な被害をもたらす災害が国内でも多く見られます。環境保全は持続可能な社会を築いていく上で重要な課題だと認識しており、当社グループとしては、製造工程はもちろん開発・設計の段階から環境に配慮したものに努めてまいります。

今後も社会から信頼される企業、従業員が自信と誇りを持てる企業を目指し、グループ一丸となって取り組んでまいります。

社会から求められる企業であり続けるために

「経営理念」と「三菱製鋼グループ企業行動指針」に基づき、自らの社会的使命を果たすことでより信頼される企業を目指し、お客様・お取引先様・株主・従業員・地域社会など各ステークホルダーとの対話を通じて、持続可能な社会の実現に貢献いたします。

また、わが国ではコーポレートガバナンス・コードの策定に伴い、より一層ガバナンスの質が重視される時代となりました。当社グループでは、いかなる経営環境にも対応できる企業体質の確立、透明性の高い健全な経営に取り組み、企業価値の最大化に努めてまいります。

全ての従業員がいきいきと働ける職場環境づくり

安全衛生管理は、事業活動の基盤となる最優先事項の一つであるとし、元気よく健康に働ける会社づくりをしてまいります。

また、2020年を目標とした女性活躍推進ビジョンを掲げ、ダイバーシティマネジメントに取り組むとともに、持続的成長を目指す上で人材育成は欠かせないと考え、グローバルに活躍する人材の輩出に取り組んでいます。これらを積極的に推進することで、当社グループの新たなDNAを生み出し続けます。

さらなる企業価値向上を目指して

今後も多様化するニーズに迅速に対応し、競争力の強化に努めてまいります。国内の生産拠点をマザー工場として強固な基盤にするとともに、お客様の現地調達等のニーズに対応するため、さらなるグローバル展開にも努めます。また、「素材から製品まで」一貫して製造することができるノウハウを生かし、当社グループの柱である特殊鋼鋼材・ばね・素形材製品・機器装置の4つの事業のシナジーを追求し、これまで以上に満足いただけるよう、新しい価値の創造にも取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

「未来に答える三菱製鋼」

当社グループの製品は、私たちの暮らしの中のさまざまな場面で貢献しています。



浚渫船で



・バケット

工場で

- ・鍛造プレス（鍛造加工）
- ・回転鍛造機（リング圧延）
- ・防振装置（機械振動防止）
- ・鑄造磁石（離脱ステップモーター用）
- ・精密鑄造品（搬送装置用部品）

LNG 貯蔵基地で

- ・鍛鋼品（LNG 貯蔵タンク用ノズル）

リサイクル場で

- ・磁力選別機（鉄・非鉄金属の選別）

下水処理場で

- ・下水汚泥減量化、燃料化、肥料化プラント

電車で

- ・ばね（鉄道車両用）
- ・特殊鋼鋼材（大歯車等用、鉄道線路部品のタイプレート用）
- ・鍛鋼品（駆動モーター用リテーナリング）

トラック・乗用車で

ばね（サスペンション用、自動車変速用）、スタビライザ、キャブ手摺り、あおり戸開閉補助装置

各種エンジン部品

燃料噴射装置用部品、ターボチャージャー用部品、クランクシャフト・コンロッド・カムシャフトに使われる特殊鋼鋼材

建設機械で

ばね（建設機械用）、鑄鋼品（建設機械用）、タイヤプロテクター、産業車両・建設車両用タイヤチェーン、舗装を傷めないゴムパット

各種建設機械で使われる部品

油圧シリンダー・スプロケット・アイドラローラー・旋回輪・ロッドヘッドに使われる特殊鋼鋼材

風力発電で

- ・特殊鋼鋼材（シャフト）

船で

- ・特殊鋼鋼材（船舶用ボルト・シャフト）

変電所で

- ・トーションバー（遮断機用）

発電所で

- ・タービンシリンダー（ガス発電用）

ビルで

- ・ばね（免震・制震装置用）

事務所で

- ・特殊合金粉末（焼結、MIM用/OA機器、通信機器）
- ・鑄造磁石（OA機器のステッピングモーター用）
- ・精密鑄造品（ドットプリンター用ヨーク）
- ・ヒンジ（デジタルカメラ、パソコン）



特殊鋼鋼材事業	
■建設機械等に使われる特殊鋼	
製品	棒鋼（機械構造用炭素鋼・合金鋼、ばね鋼、工具鋼、非調質鋼、快削鋼、軸受鋼 他）
生産拠点	国内 北海道 室蘭市 海外 インドネシア
主な最終用途	建設機械、自動車、産業機械、工作機械 他
特長	高炉溶銑を主原料とした特殊鋼を生産しています。豊富な製品サイズレンジ（丸鋼：φ19～φ350、角鋼：60～350mm）
連続製造設備	全連続 V-H 圧延機
棒鋼（機械構造用合金鋼・炭素鋼、ばね鋼 他）	

ばね事業	
■国内唯一の素材から製品までの一貫メーカー	
製品	自動車サスペンション用ばね・建設機械用ばね、情報通信機器用部品（機構部品・アンテナ等）、自動車補給部品 他
生産拠点	国内 千葉県 市原市 海外 カナダ、米国、中国、インド、フィリピン
主な最終用途	自動車、建設機械、情報通信機器 他
特長	素材から製品まで一貫生産、精密ばねから超大型ばねまで豊富な品揃えを展開しています。また、建設機械用太巻ばねでは、世界トップシェアを獲得しています。
自動車サスペンション用ばね	スタビライザ
建設機械用太巻ばね	板ばね
各種ヒンジ	

素形材事業	
■幅広い分野で活躍する素形材製品	
製品	精密鑄造品、特殊合金粉末、建設機械用耐摩耗鑄鋼品、鑄造磁石 他
生産拠点	国内 福島県 会津若松市 海外 タイ
主な最終用途	自動車、建設機械、産業機械 他
特長	鑄造を中心とした加工技術で幅広い分野で使用される素形材製品を製造しています。
耐摩耗鑄鋼品（建設機械用ツース）	特殊合金粉末
精密機械加工品（燃料噴射装置用部品）	精密鑄造品（ターボチャージャー用部品）
磁石製品	

機器装置事業	
■基幹産業を支える機械・プラント技術	
製品	鍛圧機械、一般産業機械、鉄構品、環境機器、磁力選別機、搬送装置 他
生産拠点	長崎県 長崎市
主な最終用途	産業機械 他
特長	鍛圧機械のトップメーカーとしての技術をベースに幅広い製品へ展開しています。
鍛圧機械（鍛造プレス機）	鍛圧機械（リングローリングミル）
環境装置（メタサウルス）	

CSR 推進

当社グループは、「三菱製鋼グループ企業行動指針」を掲げています。「事業活動」「コンプライアンス」「情報開示」「社員の尊重」「環境保全」「国際化」の6つを柱とし、その中で11項目を当社グループ行動指針として明文化することで、従業員へCSRに対する意識の向上を図っています。また、CSR基本方針の策定により、これに則してCSR活動を推進していきます。

三菱製鋼グループ企業行動指針 (2015年11月26日改定)

三菱製鋼グループは、経営環境の変化に対応できる企業体質を確立し、持続的かつグローバルに発展するとともに、社会から信頼される企業を目指すため、「三菱製鋼グループ企業行動指針」を定める。グループ各社の全ての役員・従業員は本指針を共有し、実行することを自らの責務とする。

事業活動

1. 常により高い品質と機能を持ち、顧客ニーズを満足させる製品・サービスを提供し、社会の発展に寄与する。
2. 保有する多様な技術を結集し、ユニークでより高い技術の開発に注力するとともに、収益性の確保に努めながら効率的な経営を目指し企業価値向上に努める。
3. 挑戦を是とし失敗を恐れない社風を育み、自ら変わり続ける意志を持つ。
4. さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを意識した経営を基本とし、社会の発展に貢献する。

コンプライアンス

5. 法令や社会規範を遵守し、公正で透明・自由な競争並びに適正な取引を行う。
6. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは決して関係しない。

情報開示

7. 企業情報を適時適切に開示し、透明性を確保するとともに、個人情報・顧客情報など、各種情報の保護・管理を徹底する。

社員の尊重

8. 社員の人権・人格・個性と多様性を尊重し、差別を行わない。
9. 安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、人材育成を通じて企業活力の維持・向上を図る。

環境保全

10. 地球環境の保全は人類最重要課題の一つと認識し、事業活動のあらゆる面で環境の保全に積極的に取り組む。

国際化

11. グローバルな事業活動においては、国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重しながら経営を行う。

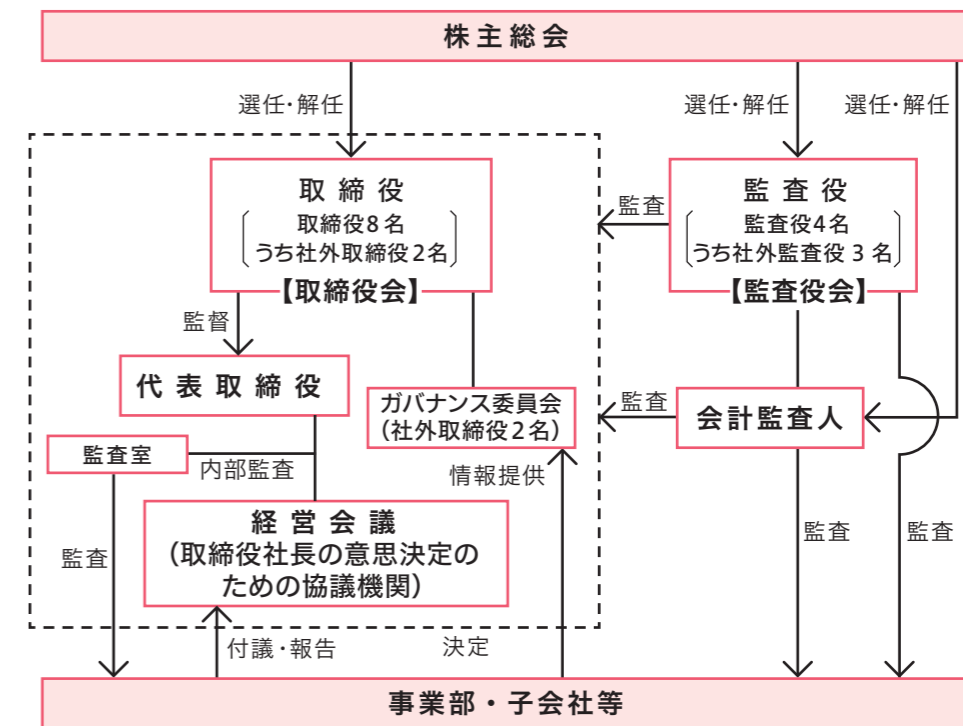
CSR基本方針

「経営理念」と「三菱製鋼グループ企業行動指針」に基づき、自らの社会的使命を果たすことでより信頼される企業を目指し、お客様・お取引先様・株主・従業員・地域社会など各ステークホルダーとの対話を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

コーポレート・ガバナンス (企業統治)

当社グループは、いかなる経営環境の変化にも対応できる企業体質を確立することを重要課題と認識し、競争力ある事業の育成を通じて、持続的かつグローバルに発展することを経営の基本方針としています。このためには、コーポレート・ガバナンスを充実させて迅速かつ合理的に経営の意思決定をし、これに対するチェック機能を確保することが重要と認識しています。

コーポレート・ガバナンス体制



※ 2015年11月現在の概要を表しています。

内部統制に関する重点項目

◎取締役会制度と監査役会制度の機能強化

取締役会はグループ全体の経営戦略を方向付ける場であり、意思決定の迅速化に留意しつつ経営の基本方針策定、法令・定款で定められた事項、その他経営に関する重要事項の決定及び取締役の業務執行の監督をしています。また、社外取締役及び社外監査役が取締役会に出席し、業務執行の決定における公平性・透明性を確保しています。

◎経営会議による業務執行の審議ならびに法令遵守・危機管理強化

取締役、監査役、フェロー社員、事業部長、経営支援部門各部長等を構成メンバーとした経営会議を毎週定例的に開催し、重要な業務の執行、法令遵守、危機管理について審議し、対応しています。

◎財務報告に関する内部統制

内部統制委員会及び取締役会は、2014年度の財務報告に係る内部統制について一般に公正妥当と認められる評価基準に準拠して有効であると評価しています。また、監査法人からも当該評価は適正であるとの監査意見をいただいています。

取締役会・監査役会の実施

取締役会・監査役会を原則、毎月1回開催しています。各社外役員も、それぞれの見地から活発に意見を述べ、経営監視機能を十分に発揮しています。

2014年度実施状況

	開催回数	社外役員出席率 4名 (うち社外監査役2名)
取締役会	13回	96%
監査役会	13回	100%

※社外監査役3名のうち1名が任期途中で退任していますので、上記出席率から除外しています。

リスクマネジメント

健全な事業活動を継続するため、リスクが発生し、または予見される際は、迅速かつ的確に対応する危機対応能力の強化を推進し、リスクの未然防止に努めています。

事業継続計画

当社グループのBCP(事業継続計画)は経営企画部が事務局となり、全社的に整備を進めています。

特に本社、千葉製作所などでは一括した組織を設け、「首都圏防災会議」を開催し、BCP推進の強化を図っています。

今年度は全従業員を対象に、災害発生の際、迅速・正確に安否を把握することを目的として「安否確認システム」を導入しました。また、各拠点で3日分の備蓄品を用意するとともに、1日分の避難セットを配付しました。その他、所有建築物における耐震診断の実施や社員教育を目的としたシナリオ非提示型危機対応模擬訓練[※]への参加も順次進めています。

[※]訓練シナリオを知らせず、起こりうる非常事態を模擬体験させることで、必要な行動を考えさせる訓練



1日分の避難セット



放水訓練(広田製作所)

機密情報管理

当社では、開示すべき情報について、適時適切に開示する一方、「機密管理規程」を策定し、お客様・従業員・その他関係者等からの保護すべき情報資産のセキュリティ管理を徹底しています。

◎機密保持契約

機密事項の漏洩防止のため、従業員は入社時に「機密保持に関する誓約書」を提出します。また、社内誌において機密管理について掲載することで、その重要性の認識を促し、情報漏洩防止の徹底につなげています。

◎機密情報管理体制・組織

役割(概要)

- 機密管理統括責任者**
(総務人事部担当取締役)
 - ・機密管理事務局の設置
 - ・機密管理全般の監査指導
- 機密管理事務局**
(総務人事部、経営企画部システム室)
 - ・機密管理に関する施策の立案
 - ・機密管理教育の実施
 - ・機密管理状況の点検及び調査など
- 各部門**
- 事業所機密管理統括者**
(製作所長)
 - ・機密管理教育の実施
 - ・機密管理状況の点検及び調査など
- 機密管理責任者**
(部長・室長・支社長・支店長)
 - ・具体的判断と機密管理区分の指定
 - ・機密管理担当者の指名
 - ・機密管理教育の実施など
- 機密管理担当者**
 - ・機密管理の実務執行
 - ・部署内の機密保護の推進、徹底

個人情報保護方針

三菱製鋼個人情報保護方針をホームページで公開しています。

<http://www.mitsubishisteel.co.jp/cont/kojinjouhou.htm>

なお、2014年度には個人情報漏洩に関する事例はありませんでした。

コンプライアンス

当社グループは、「三菱製鋼グループ企業行動指針」(7頁)に示す通り、法令・社会規範を遵守した企業活動を行っています。

コンプライアンスの取り組み

当社グループでは経営会議、取締役会において法令を遵守した業務執行がなされているかどうか審議するとともに、監査役会によるグループ全体の監査と内部監査部門である監査室による従業員の業務執行監査を相互に連携しながら行うことで、コンプライアンス体制の構築・運用に努めています。

◎コンプライアンス教育

当社グループでは、コンプライアンス教育の充実に取り組んでいます。実際に起きた具体的な事例を取り上げ、階層に応じた教材を使用し、必要に応じてディスカッションを組み込む等、コンプライアンス問題を身近に感じてもらえるような工夫をしています。

今後もコンプライアンス意識が一層向上し、役員はもとよりグループ従業員全体に浸透するよう継続して実施していきます。



コンプライアンス研修教材

反社会的勢力との関係遮断

当社グループは、反社会的勢力に毅然として対応し、決して関係しないと「三菱製鋼グループ企業行動指針」に定めています。これに基づき、お取引先様と「反社会的勢力の排除に関する覚書」を締結しています。また、社員教育の中で反社会的勢力との関係遮断のほか、威嚇や不当要求に屈することのない毅然とした対応で臨むことを指導するなど「三菱製鋼グループ企業行動指針」の遵守に努めています。

内部通報制度

内部通報制度として、社内・社外の窓口を設けています。通報方法として、電話・メール・FAX・郵便・書面・面談のいずれも可能とし、また、匿名での通報も受け付けています。

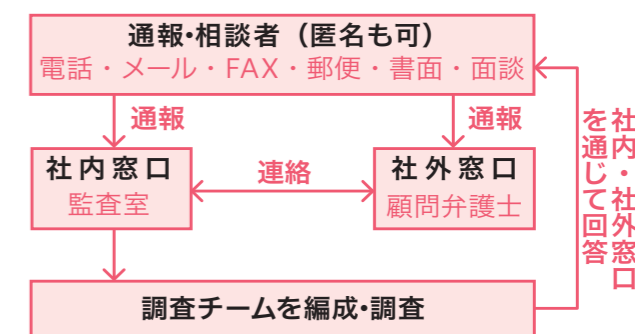
内部通報制度を周知するため、社内誌に制度の概要について掲載しました。

年度	2012年度	2013年度	2014年度
件数	2	3	3

(件)

[※]2012年度～2014年度で法令違反等の重大なものはありませんでした。

内部通報制度とその後の流れ



株主・投資家の皆様とともに

当社は、企業価値向上へ向けて改善を進めるとともに、公正かつ適時適切な開示に努め、健全な経営基盤を維持しています。

ホームページでの情報掲載

ホームページでは、常に新しい情報を伝え、重要な情報を公平かつ適時適切に掲載しています。その他、トピックス、CSR 情報等、法令や規則で定められた情報以外の掲載にも努めています。



ホームページトップ画面

株主の皆様とのコミュニケーション

株主の皆様には、期末・第2四半期決算後に「株主の皆様へ」を送付しています。該当する期間の業績の推移、セグメント別状況、トピックス等をグラフや写真を用いて掲載し、株主の皆様にわかりやすく紹介し、当社グループに対する理解を深めていただけるよう努めています。



「株主の皆様へ」の冊子

株主総会・株主懇談会

当社では定時株主総会後に株主の皆様との情報交換の場として、株主懇談会を開催しています。事業内容の紹介パネルや製品の展示、製造工程を動画等で紹介し、社長をはじめとする取締役や事業部長、営業部長が説明にあたっています。株主懇談会は、株主の皆様から直接ご意見をいただける大切な場と考えています。



株主懇談会の様子



素形材菱萌会の役員会

お取引先様とともに

当社では「三菱製鋼グループ企業行動指針」(7頁)に基づき、顧客ニーズを満足させる製品とサービスを提供するために、公正・公平な取引を実施し、ビジネスパートナーであるお取引先様とともに、法令遵守・環境・安全・人権保護に配慮した調達活動を推進していきます。

三菱製鋼グループの資材方針

1. 法令・社会規範の遵守 (コンプライアンスの徹底)

当社では調達取引におけるコンプライアンス違反がないよう、年に1回の内部監査を実施し、下請法他関連法規の遵守状況を確認しています。また、「下請法マニュアル」により、都度社内関係者への教育を実施しています。

2. 公正・公平な取引とパートナーシップ構築

当社は全ての取引に公正・公平な取引の機会を提供します。また、全てのお取引先様と良きパートナーシップを築き、信頼関係の維持向上に努めています。

3. 地球環境への配慮

調達取引先及び調達品選定においては、環境負荷低減に配慮した調達活動を推進しています。

4. 人権・労働安全衛生への配慮

基本的な人権を尊重するとともに、労働安全衛生に配慮した調達活動を推進しています。

《コンフリクトミネラル (紛争鉱物) 対策》

人権保護の観点から、コンフリクトフリーであることを確認して原材料の購入を進めています。また、お客様からのサプライチェーン調査へも随時対応しています。

5. CSR 調達の推進

お取引先様へも資材方針を説明し、ご理解とご協力をお願いしています。

お取引先様との取り組み

主要なお取引先様へは、資材方針についての基本的な考え方を説明するとともに、法令遵守や地球環境への配慮についての協力を呼びかけています。また、各事業所では、お取引先様とともに、人権・労働環境・環境保護に関する問題に取り組んでいます。

◎広田製作所の活動

広田製作所では毎年、素形材菱萌会 (協会) の役員会において、資材方針の内容と取り組みについて具体的な説明を行い、会員の皆様へも同様の活動をしていただくよう教育を実施し、協会と一体になって CSR 活動を進めています。



素形材菱萌会の役員会

[Voice]

私たち素形材菱萌会では、三菱製鋼(株)より CSR 活動への協力要請を受け、菱萌会会員各社でも同様の活動に取り組んでいます。今後も三菱製鋼(株)との協力関係を深め、一体となって社会的責任を果たすよう努力してまいります。



素形材菱萌会会長
(荒川産業(株)
代表取締役相談役)
荒川 洋二さん

お客様とともに

当社グループは、営業・製造・品質保証部門が一体となって、お客様の満足と信頼を得られる製品を提供し続けることで、社会の発展に貢献します。

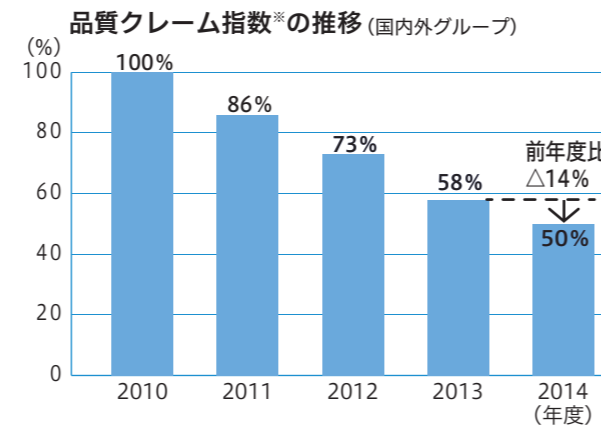
品質向上の主な取り組み

当社グループは以下について行い、品質向上に取り組んでいます。

実施項目	品質会議	品質パトロール
品質管理活動の中心となる仕組みとして、各事業所では毎月品質会議を開催し、品質方針・目標に基づき、潜在的なリスクの洗い出しや品質クレームの未然防止に取り組んでいます。	品質教育	品質監査
「品質の維持向上には全従業員の高い品質意識が必要であり、そのためには教育が不可欠である」との認識に基づき、品質教育を行っています。	品質パトロール	品質管理活動が行われているか確認しています。

お客様満足の向上

当社グループの製品がお客様の満足と信頼を得るため、営業・製造・品質保証部門が一体となって品質向上に努めています。クレームに対しては、製造現場の作業長や担当者を含めて「クレーム対策会議」を開催し、品質会議等でクレームの原因究明と是正措置の徹底を継続した結果、2014年度の品質クレーム指数は、前年度に比べ14%減となりました。



※品質クレーム指数：2010年度の件数を100%とした場合の指数。今回より国内外のグループ会社を含めた集計に変更し、新たなものとしています。



協業会社に対する品質教育 (三菱製鋼室蘭特殊鋼株)

品質 ISO 等取得状況

【ISO9001】

国内事業所

事業所名	取得年月
千葉製作所	2003年 12月
広田製作所	2008年 10月

国内関連会社

社名	取得年月
三菱長崎機工	1995年 3月
三菱製鋼室蘭特殊鋼	2015年 3月

海外関連会社

社名	取得年月
MSM CEBU	1998年 3月
MSM (THAILAND)	1999年 3月

【ISO/TS16949】

海外関連会社

社名	取得年月
MSSC CANADA	2004年 7月
MSSC US	2004年 9月
MSM (THAILAND)	2007年 2月
寧波菱鋼彈簧	2009年 10月

お客様からの評価

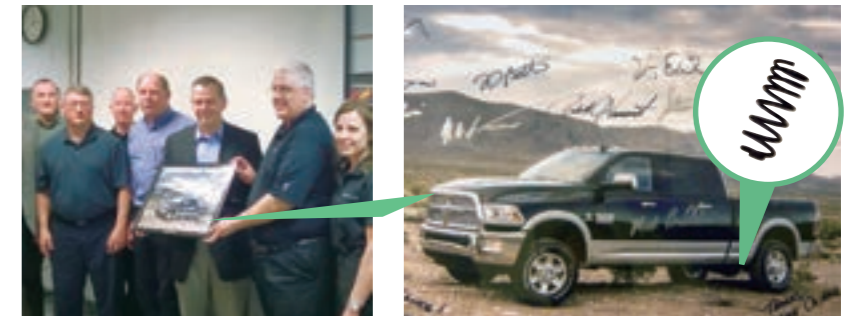
◎日立建機(株)殿より感謝状・・・千葉製作所
日立建機(株)殿より調達改革活動への協力に対し感謝状をいただきました。製品競争力強化に極めて顕著に貢献をしたとしてその功績が称えられました。



日立建機(株)よりいただいた感謝状

◎クライスラー社 (Fiat Chrysler Automobiles) のピックアップトラックに巻ばねが採用・・・MSSC US INC.

当社グループの MSSC US INC. で製造している巻ばねが、クライスラー社 RAM ピックアップトラック (2014年モデル) に採用され、同車種の開発・立ち上げへの協力に対しクライスラー社より表彰を受けました。リヤサスペンションを従来の板ばねから巻ばねに替えたことにより乗り心地が向上し、米国の業界誌から高い評価を受けています。



開発・立ち上げへの協力に対し、クライスラー社より表彰を受けました

◎ゼネラルモーターズ社 (General Motors Company) より表彰・・・MSSC CANADA INC. MSSC US INC.

当社グループの MSSC CANADA INC. ならびに MSSC US INC. の2社は、ゼネラルモーターズ社より2013-2014年度の品質優秀サプライヤー賞を受賞しました。MSSC CANADA INC. は2年連続の受賞となりました。今後もゼネラルモーターズ社をはじめ、全てのお客様に高い品質の製品を供給し続けることにより、さらに信頼されるサプライヤーとなるべく努力していきます。



品質優秀サプライヤー賞を受賞

◎广汽三菱汽車有限公司より表彰・・・寧波菱鋼彈簧有限公司

当社グループの寧波菱鋼彈簧有限公司は、广汽三菱汽車有限公司より2014年度優秀サプライヤーとして表彰されました。



广汽三菱汽車有限公司から表彰された記念のトロフィー

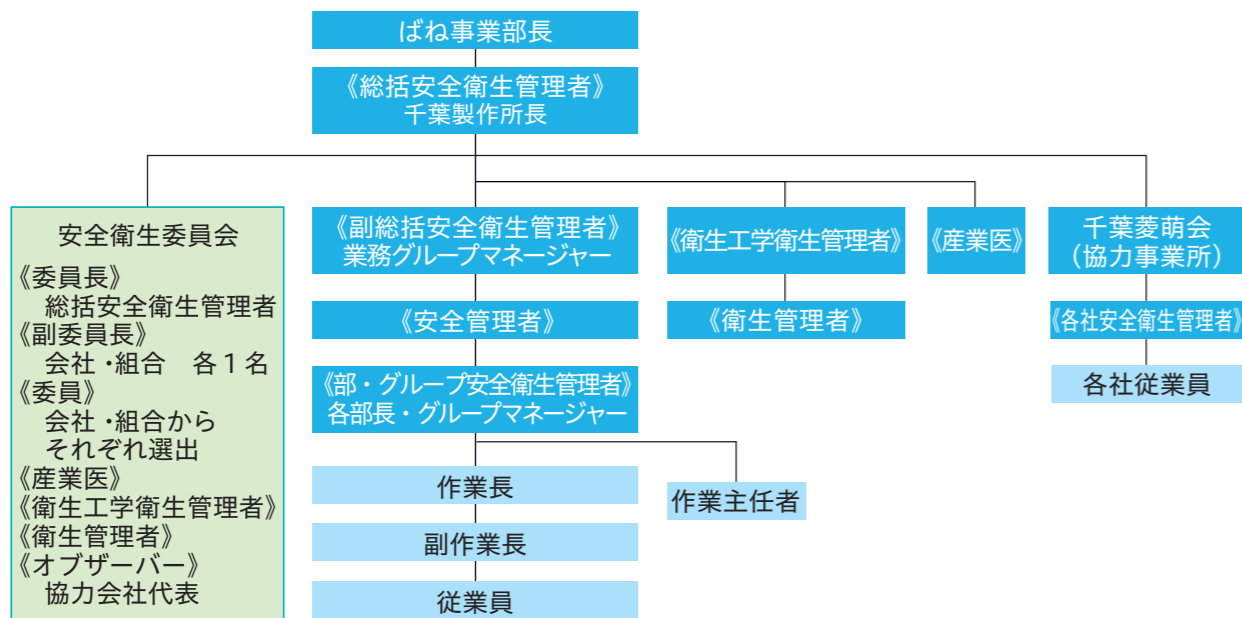
従業員とともに (安全と健康)

当社グループは、「安全は全てに優先する」という考えのもと、安全で健康的に働ける、快適な職場環境づくりを推進しています。

安全衛生の取り組み

事業所ごとに会社と労働組合のメンバーで構成された安全衛生委員会を設置し、安全衛生に関する情報を共有するとともに、労働災害の防止と従業員の健康の維持・管理・増進を図っています。
災害が発生した場合は、原因を分析するとともに対策を施し、他の事業所へ情報の共有を行っています。

【安全衛生推進体制(例) 千葉製作所】



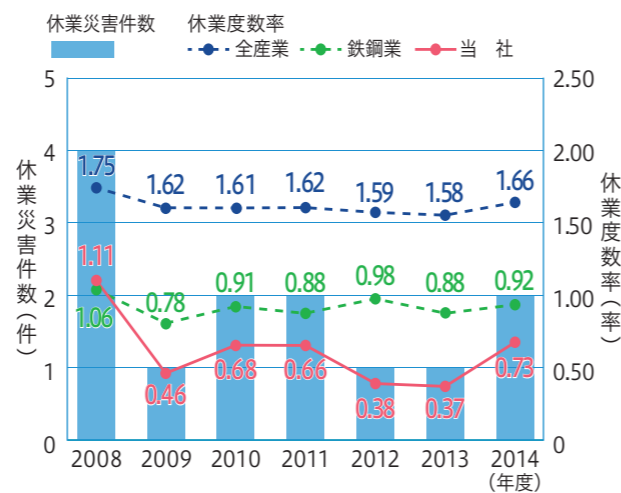
2014 年度安全の状況

2014 年度は、「挟まれ・巻き込まれ」による休業災害が 2 件発生してしまいました。同じ災害を起こさないよう、作業のルールや作業標準書の見直し対策をしました。また、危険予知訓練やヒヤリ・ハット活動等で危険感受性を高め、潜在的に職場に潜むリスクを洗い出し、従業員全員で『安全第一』を意識しながら職場環境改善に取り組んでいます。



パトロール風景 (千葉製作所)

休業災害度率



※休業度率 (100 万時間あたりの災害者数)
 度率 = 労働災害による死傷者数 ÷ 延労働時間数 × 100 万時間
 三菱製鋼(株)と三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)の合計でデータを算出しています

各事業所での安全活動



フォークリフト技能コンクール (広田製作所)

工場敷地内にコースを設け、フォークリフトの技能コンクールを行い、運搬作業の安全性・正確性・効率性を審査しています。毎年コンクールを行うことで、運転技術や安全意識の向上に役立っています。



玉掛け技能コンクール (三菱製鋼室蘭特殊鋼(株))

クレーンで重量物を移動させる一連の作業において、安全で正確、かつ効率的であるかを審査しています。今年は特に経験年数の浅い人を代表選手として選考し、実作業に則した内容を競いました。毎年コンクールを行うことで、作業技術や安全意識の向上に役立っています。



鉄履帯へのイーグルパッド取付講習 (本社部門)

全国のサービスセンター長と営業担当者が参加し、当社商品である「イーグルパッド」の取付作業に関する安全講習を行っています。自らが安全に作業するためのポイントを再確認し、お客様への説明にも生かしています。

装着後



「イーグルパッド」
 油圧ショベルの鉄履帯に装着し、舗装路面を傷めることを防ぐゴム製のパッド

◎海外生産拠点における安全衛生の取り組み

当社グループは、北米・アジア地域に生産拠点を有しており、拠点ごとに安全衛生基本方針を掲げ、安全活動に取り組んでいます。当社グループ及び他社で発生した災害事例を国内外の生産拠点へ展開し、情報を共有するとともに再発防止に努めています。

従業員とともに (安全と健康)

健康管理

定期健康診断及び人間ドックで、要治療や要精密検査等の判定があった従業員に対し、産業医や保健師による適切な指導を行うほか、社内レクリエーションやクラブ活動等を積極的に行い、従業員の健康増進と社内コミュニケーションに努めています。

◎ウォーキング

本社部門では、労使共催の取り組みの一環として、6月と11月に「健康増進ウォーク」を開催しました。本社から有明までの3.3キロの道のりを歩き、日常の運動不足の解消に努めました。11月は、産業医に参加していただき、直接相談できる機会を設けました。



本社近くの晴海大橋をウォーキング (本社部門)

◎スポンジラケット卓球で健康増進

広田製作所では、休憩時間にスポンジラケットを使用した卓球を行い、健康増進に取り組んでいます。年に一度、チーム戦を行い、製作所全体が大いに盛り上ります。



スポンジラケット卓球大会 (広田製作所)

◎メンタルヘルス教育

社内でメンタルヘルスに関する講師を養成し、各事業所でメンタルヘルス教育を行っています。社内講師による教育によって、事業所ごとの特性に合った指導が可能となっています。



メンタルヘルス教育

◎熱中症予防対策

当社グループの製造職場では、熱中症予防対策として、各所にウォーターサーバーを設置し、麦茶・スポーツドリンク・梅干・塩飴の配布を行っています。熱が発生する職場では、外気を取り込むファンやスポットクーラーを設置しています。特に暑い職場では、保冷効果のあるベストやタスキを配布しました。また、電動ファン付き作業着の試験導入など、より働きやすい職場環境づくりを目指しています。



電動ファン付き作業着の検討

◎クラブ活動

ラグビー・テニス・陸上など、さまざまなクラブがあり、活動しています。事業所を越えて対抗試合を行うなど活発なコミュニケーションが図られています。



三場所対抗テニス大会

従業員とともに (人材育成・雇用)

当社グループでは、仕事と生活が両立でき、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、従業員の能力が生かされるよう、職種やキャリアに応じたさまざまな研修を行っています。

人材育成

◎新入社員育成に関する取り組み

新入社員育成の取り組みとして、社会人としての基本を主体とした導入研修に加え、6ヶ月の工場実習を組み合わせた育成プログラムを行っています。配属後は、エルダー社員制度により、教育及び相談相手として新入社員1名に対し、教育担当の先輩社員1名を任命し育成しています。

新入社員研修プログラム

期間	研修内容
4月	導入研修 ・ビジネスマナー研修 ・コンプライアンス教育 ・コミュニケーション研修 ・安全衛生教育 ・メンタルヘルス教育 ・ビジネス英語研修 ・自衛隊生活体験研修 他
5月～10月	工場実習 ものづくりの基本を学ぶ工場実習 ・広田製作所 ・三菱製鋼室蘭特殊鋼株 ・千葉製作所



《11月配属》

11月に配属し、入社3年目まで、エルダー社員制度により若手先輩社員によるマンツーマン教育・指導を実施しています。新入社員の早期育成と仕事に対する不安解消を図っています。

◎階層別教育

従業員一人一人がその役割に応じて遂行すべき職務のスキルを身につけるため、階層別教育を実施しています。



階層別教育 (マネージャー研修)



ビジネス英語研修



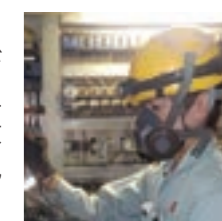
工場実習職場のまとめ発表

2014年度実施 階層別研修

研修対象者	研修内容
上級管理者 (事業部長・所長)	経営戦略研修、環境分析を通じた全社戦略の策定
部長・室長	戦略思考の醸成、環境分析を行い部署の戦略を策定
マネージャー・サービスセンター長	経営数字の理解と諸施策の検討、労務管理の徹底
中堅社員 (入社10～13年)	仕事の進め方 (タイムマネジメント) とコミュニケーション
副作業長	副作業長の仕事力 (コミュニケーション・部下指導)、リスクアセスメント

【Voice】

講義で学ぶ内容は、仕事に通ずるものが多々ありました。「あの作業にはこんな意味があったのか」「先輩が言っていたのはこのことか」など、私が考えていた以上の意味が、作業一つ一つにあることを知りました。改めて電気技術の奥深さに驚かされたのと同時に、電気技術に対する興味もより一層膨らみました。2年間で培った電気技術の知識を駆使して仕事に役立てたいと思います。



広田製作所 要 亮佑

◎国内留学派遣

電気技術者育成を目的として、産業技術短期大学に派遣し、集中的に育成を行っています。

従業員とともに (人材育成・雇用)

◎グローバル人材の育成

【海外研修制度】

海外で活躍できる人材を一人でも多く輩出するため、2008年から海外研修制度を導入しており、海外事業直結の事業部門だけではなく経営支援部門からも研修生を派遣しています。

2年間の派遣期間で、語学能力向上に努めながら業務実習に取り組み、その国特有の制度・文化に理解を深め、異なる価値観を尊重できる柔軟性を身に付けていきます。将来、再び駐在員として、もしくは日本国内で海外関連業務をけん引できる人材として、活躍することが期待されています。



海外研修の様子

◎海外赴任前研修

海外赴任が予定されている従業員を対象に海外赴任前教育の拡充と定着化を図っています。

赴任前の短期間に、海外危機管理研修を実施するとともに、現地スタッフへの理解を深めるため、赴任国の文化・社会的背景について学びます。また、帯同家族には海外生活や子女教育について相談機関を紹介しています。

十分な備えをすることで、海外で活躍できる環境を整えています。

多様な人材の活用

◎働き続ける環境整備

女性の活躍推進は経営戦略の一つであると位置づけており、育児に関する制度の拡充をし、育児休業取得後の継続就労者も増加しています。また、新入社員研修では各工場での実習を通じて“ものづくりの原点”を学び、さらにはグローバルで活躍できる人材育成として海外拠点へ派遣するなど、活動の幅を広げています。女性活用の推進における2020年までの目標として、「女性社員比率15%」「女性管理職5名」を目指し、その基盤づくりとして女性の新規採用の拡大や、事業所の女性用厚生施設の整備を進めています。また、今後の取り組みとして、事業所の現業部門への女性採用や、ダイバーシティ推進の教育・研修の充実を図っていく予定です。

【Voice】

中国での研修では試作品製作・評価、新技術導入など現地スタッフと協力しながら日々取り組んでいます。現地スタッフとの仕事は自分の意思を明確に伝えないと自分の望んだ結果は出ません。また、コミュニケーションをしっかりとって仕事を進める必要があります。本制度は語学学習の機会も十分にあるので、現在では現地スタッフと中国語で簡単な意思疎通が可能となり、迅速な情報交換ができるようになりました。今後より一層語学力を向上できるよう取り組んでいきたいです。



寧波菱鋼彈簧有限公司
小川 貴大

◎海外危機管理対策

安全かつ衛生的な日本とは、全く異なる環境で生活している海外駐在員・帯同家族・出張者が安心して海外生活を送れるよう、いざというときの対策を講じています。

海外危機管理の専門会社と連携し、医療面・セキュリティ面(犯罪や災害等)において世界のどこにいても24時間365日、日本語でアドバイスや救援を受けられる体制をとっています。

また、気候や抗議活動などで注意情報がある都度、本社と海外拠点で情報共有するなど、日ごろから国際間のコミュニケーションを大切にしています。

◎障がい者雇用

障がい者雇用は企業の社会的責任と捉え、雇用を促進しています。一人一人が最大限の能力を発揮できる環境を整えつつ、今後も法定雇用率2.0%以上の雇用を目指していきます。

ワークライフバランス

育児を行う従業員に対する子育て支援として、法定基準を上回る制度で支援を行い、また、高齢化社会に向けて、介護支援制度の充実を図っています。仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを推進しています。

育児休業規程

休業期間	子が最長1歳6か月まで繰り下げ可
育児休業を希望しない場合の取扱い	子が3歳まで、請求により時間外労働免除等の措置
子の看護休暇	子が小学校3年生まで、1人の場合5日/年、2人以上の場合10日/年を限度
所定労働時間の短縮	子が3歳まで、所定労働時間を6時間/日(時間帯は都度調整)
時間外労働の免除	子が3歳まで、時間外労働を免除
時間外労働の制限	子が小学校就学前まで、24時間/月、150時間/年を限度
育児のための深夜業の制限	子が小学校就学前まで、請求により原則深夜労働を免除

◎シニア社員制度

定年退職後も技能や知識を生かし伝承するため、希望者を再雇用し、継続して活躍できる場を提供しています。

シニア社員制度の利用者数

(各年度末日時点の人数)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
シニア社員	43	40	36	43	50

介護休業規程

休業期間	対象家族1人につき最長1年間
介護休業を希望しない場合の取扱い	請求により時間外労働を免除
介護休暇	対象家族が1人の場合、5日/年、2人以上の場合10日/年を限度
介護のための短時間勤務	最長1年まで
介護のための時間外労働の制限	24時間/月、150時間/年まで
介護のための深夜業の制限	請求により、原則深夜労働を免除

人権の尊重

当社グループでは、「社員の人権・人格・個性を尊重し、差別を行わない」ことを「三菱製鋼グループ企業行動指針」に掲げています。「三菱人権啓発連絡会」へ参加し、三菱グループ各社の人権担当者との意見交換会や講演会へ出席するなど、人権意識の向上に努めています。

また、ハラスメント対策として従業員の相談窓口を設け、人権侵害を未然に防止する施策を講じるとともに、人権問題に対して迅速かつ適切に対応できるよう相談員の教育を実施しています。

労務データ

労務管理データ [単体]

(名)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
従業員数	839	817	793	785	762
(男)	767	745	718	707	682
(女)	72	72	75	78	80
平均年齢	42	42	42	43	44
平均勤続	19	20	20	20	21
採用数	4	16	10	15	9
(男)	3	13	8	11	6
(女)	1	3	2	4	3

年次有給休暇取得状況 (一人平均)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
取得日数	9.1	9.9	9.1	9.8	10.1
取得率%	45	49	46	49	51

地域社会とともに

地域の一員として、さまざまな社会・地域貢献活動に取り組むとともに、積極的なコミュニケーションを通して社会との共生を目指します。

ボランティア活動

◎植樹活動

MSM (THAILAND) CO., LTD. では、創立 20 周年の記念行事としてタイ チョンブリ県レムチャバン岬の植林活動に参加し、700 本のマングローブを植え、森林保全に貢献しました。



マングローブ植林活動への参加



引き潮時に長靴で樹林へ入り、植える様子

◎地域でのボランティア活動

MSM CEBU, INC. では、2013 年 11 月に発生した大型台風（フィリピン名：ヨランダ）がフィリピン セブ島北東部を通過し、大きな傷跡を残しました。この年はクリスマスパーティーを中止して、その費用を義援金として拠出し、従業員はボランティアとして支援活動を行いました。



避難している人々への食糧等を配布する社員（緑色の服装が当社社員）

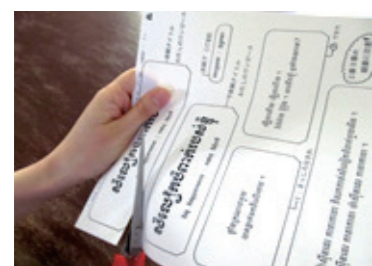


配布物の運搬作業

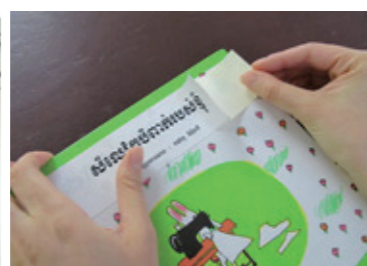
◎絵本を届ける運動

アジアの子どもたちへの教育支援活動を行っている公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に賛同し、2013 年度より活動を行っています。

貧困や紛争地域で経済的・社会的に教育が困難な子どもたちを支援するために、図書が不足している各国へ翻訳シールを貼った日本語の絵本を届けています。日本語の絵本に「クメール語」「ラオス語」「カレン語」「ビルマ語」の計 4 種類の翻訳シールを貼る作業を行いました。



翻訳シールを切る



翻訳シールを絵本に貼る

作例に使用した絵本：「わたしのワンピース」（絵・文にしまきかよこ こくま社）
【公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 ホームページ (<http://sva.or.jp/>) より】

◎被災地の移動図書館を応援

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会が東日本大震災の被災地（岩手・宮城・福島）で移動図書館の活動を行っており、当社グループでは、古本、中古 CD/DVD 等を集め、その収益金を寄付しました。

地域の皆様との交流

◎地域での清掃活動

当社グループでは、国内外の拠点において地域の清掃活動を行っています。



広田製作所での近隣清掃活動



寧波菱鋼彈簧有限公司での地元の景勝地（九峰山）清掃活動



◎地域行事への参加



輪西神社例大祭にて神輿渡御の様子

・八幡臨海まつり

千葉製作所がある千葉縣市原市では毎年 5 月に「八幡臨海まつり」が開催され、地域住民と地元企業が交流を深める場となっています。千葉製作所では毎年お好み焼きの屋台を出店し、地域の方々との交流を図っています。また、実行委員も担当し、出し物の手伝いを行いました。



八幡臨海まつりに出店

・三菱製鋼長崎製鋼所原爆殉職者慰霊祭

長崎県長崎市には、旧三菱製鋼長崎製鋼所がありました。毎年 8 月 9 日に慰霊祭を実施しており、勤務中に原爆で殉職された 1,400 名以上の諸先輩方の慰霊を行いました。ご遺族代表や長崎製鋼所の OB をはじめ、施主として三菱製鋼(株)社長、三菱長崎機工(株)社長、役員他が参列しました。



三菱製鋼長崎製鋼所原爆殉職者慰霊碑

インターンシップ(就業体験)受け入れ

◎就業体験

当社では大学生を 1 名、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)では、高校生を 4 名、インターンシップ(就業体験)で受け入れました。次世代を担う人材育成の支援活動を展開しています。インターンシップを通じて、学生の皆さんに社会や企業に対する理解を深めてもらいました。今後も企業の果たすべき役割として推進していきます。



インターンシップに参加した高校生の皆さん

環境マネジメント

環境マネジメントシステムを構築・運用して、積極的な環境保全活動を進めています。

2014年度は、以下の3項目に取り組みました。

- ・地球温暖化対策 25 ページ
- ・廃棄物等の削減・再資源化 28 ページ
- ・環境負荷物質の管理 30 ページ

環境データ（環境保全コスト、マテリアルフロー、PRTR・大気・水質）は以下のウェブサイトに掲載しております。

<http://www.mitsubishisteel.co.jp/cont/csr/csr2015.htm>

三菱製鋼グループ環境方針

基本理念

私たちは地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、事業活動のあらゆる面で環境の保全に積極的に取り組みます。

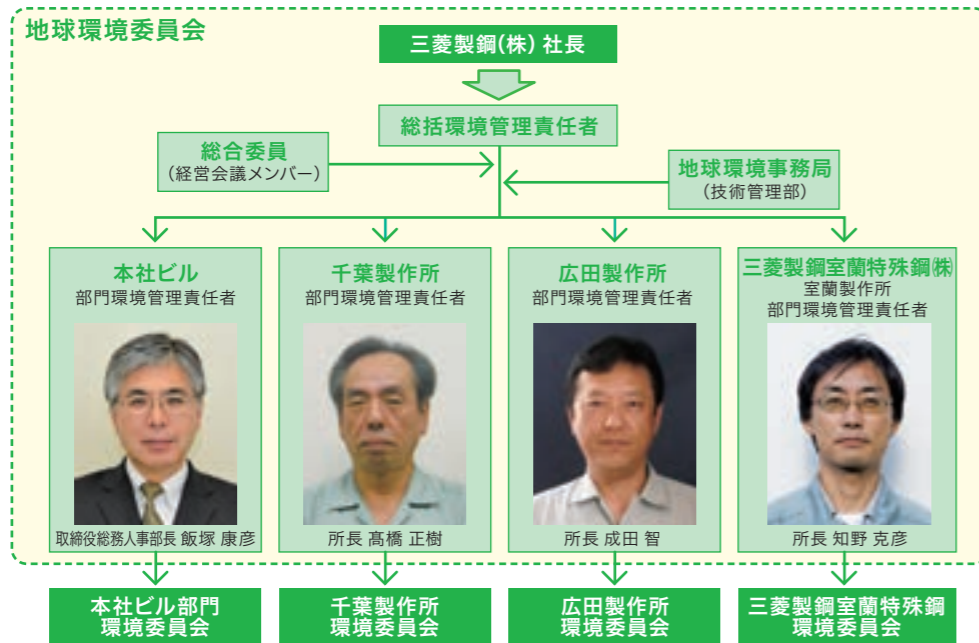
行動指針

1. 環境保全のための地球環境委員会を設置し、環境対策を推進するとともに、環境管理の継続的改善に取り組みます。
2. 製品の企画・開発・設計段階から環境保全に配慮したものづくりに努めます。
3. 事業活動のすべての領域で省資源・省エネルギー・リサイクル・廃棄物の減量等を行い、汚染の予防に取り組むとともに地域社会との協調に努めます。
4. 環境に関する法律や規制及び当社が同意するその他の要求事項を守ります。
5. 環境目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより環境保全活動の継続的な改善、向上に努めます。
6. 環境教育、グループ内広報活動を通じて、全従業員へ環境方針を周知し、環境に関する意識向上を図ります。

環境マネジメント組織

全社組織を構築し、地球環境委員会を中心として、環境保全活動に取り組んでいます。

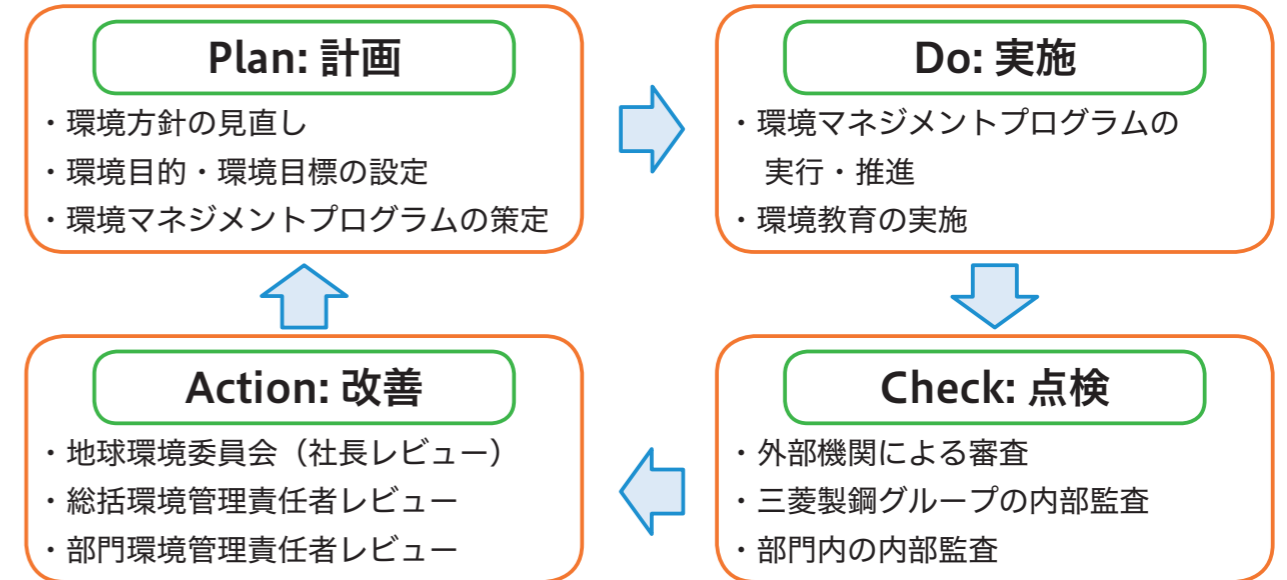
《三菱製鋼グループ環境組織図》



環境マネジメント

環境マネジメントサイクル

PDCA サイクルに基づき、継続的改善に取り組んでいます。



ISO14001 取得状況



地球温暖化対策

各部門で CO₂ 排出量削減の活動に取り組んでいます。

太陽光発電システム：千葉製作所

再生可能エネルギーの利用として太陽光発電システムを設置しています。

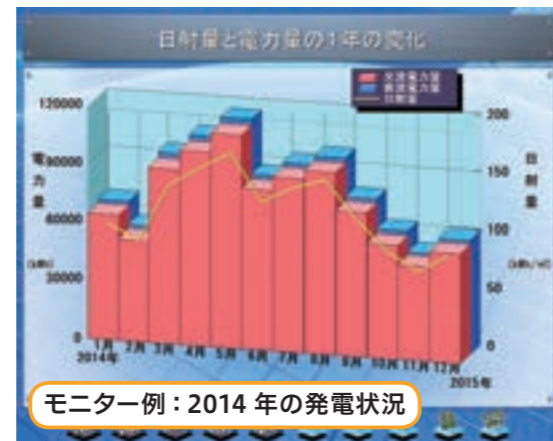
2014 年度は 89 万 kWh の電力を発電しました。これは、一般家庭（二人以上の世帯）の約 175 世帯分にあたり、年間 474 トンの CO₂ 削減になりました。



太陽光発電システム全体：容量 743kW パネル数 3,096 枚



システム管理モニター：事務所の入り口にモニターを設置し、リアルタイムの発電状態や月間の発電量を確認出来ます。



モニター例：2014 年の発電状況

照明の LED 化：千葉製作所

事務所では照明を蛍光灯から LED 灯に交換し、節電を行っています。これにより年間 6.5 トンの CO₂ 削減になります。



従来の蛍光灯：40W×2本



LED 灯：21W×2本

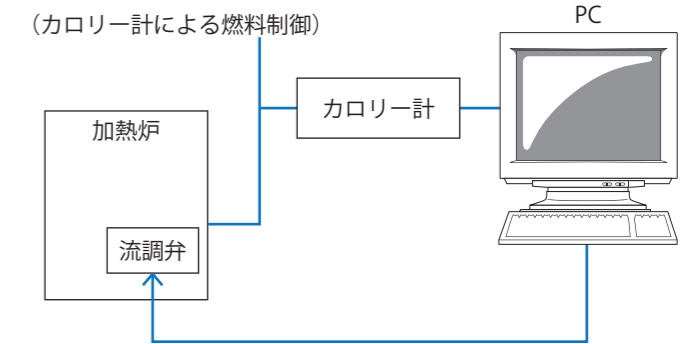
地球温暖化対策

カロリー計による制御システムの導入：三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)室蘭製作所

圧延の加熱炉にカロリー計を設置することにより、燃料原単位を下げ CO₂ 排出量を削減しました。



カロリー計



圧延工程の予熱・復熱炉では MIX ガスを使用しますが、組成にばらつきがあるため、カロリーが変動してしまいます。従来は空燃比を一定にしていたが、カロリー計の導入により最適に制御可能となり、適切な操業ができるようになりました。その結果、燃料原単位が向上し、MIX ガス使用量を従来の約 1% 削減でき CO₂ 排出量の減少につながりました。

オフィスの取り組み：本社



昼休みの消灯



スーパークールビズ



蛍光灯の間引き



積極的な階段の使用



洗面所不使用時の消灯



スイッチ付テーブルタップの使用

地球温暖化対策

モーダルシフト

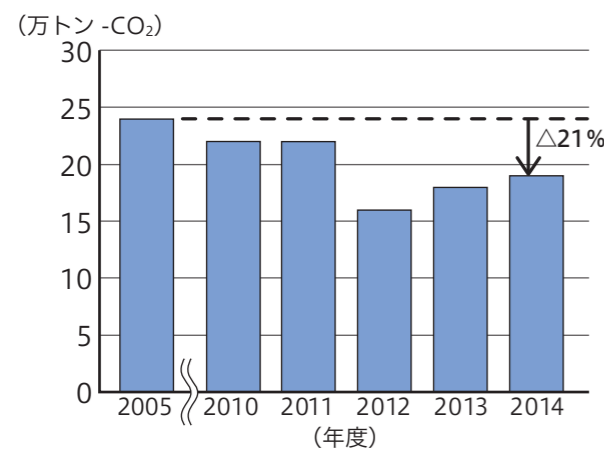


当社グループでは、トラックによる輸送を鉄道や船舶輸送に切り替える“モーダルシフト”を積極的に採用しています。一例として、菱鋼運輸(株)では、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)で生産される鋼材を日本各地へ船舶で運び、CO₂ 排出量削減に貢献しています。

CO₂ 排出量推移

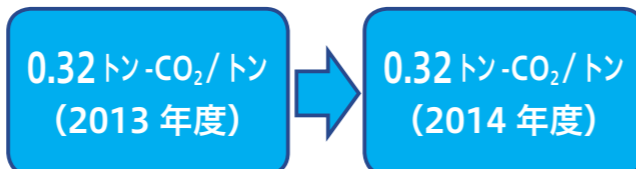
2014 年度 CO₂ 排出量は、国内事業所計で 19 万 2 千トンとなり、2005 年度の 21% 減となりました。なお 2005 年度は、現在、日本が国際的にコミットしている温暖化ガス削減目標の基準となる年です。また、活動目標として CO₂ 原単位で対前年度 1% 削減することに取り組みましたが、結果として横ばいとなりました。

国内事業所計 CO₂ 排出量推移



(CO₂ 原単位)

目標：対前年度比 1% 以上削減



※原単位 = CO₂ 排出量(トン) / 生産量(トン)

廃棄物等の削減・再資源化

廃棄物の再資源化への取り組み：千葉製作所

工場で発生する廃棄物の再利用、再資源化に取り組んでいます。



スラグのリサイクル：三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)室蘭製作所

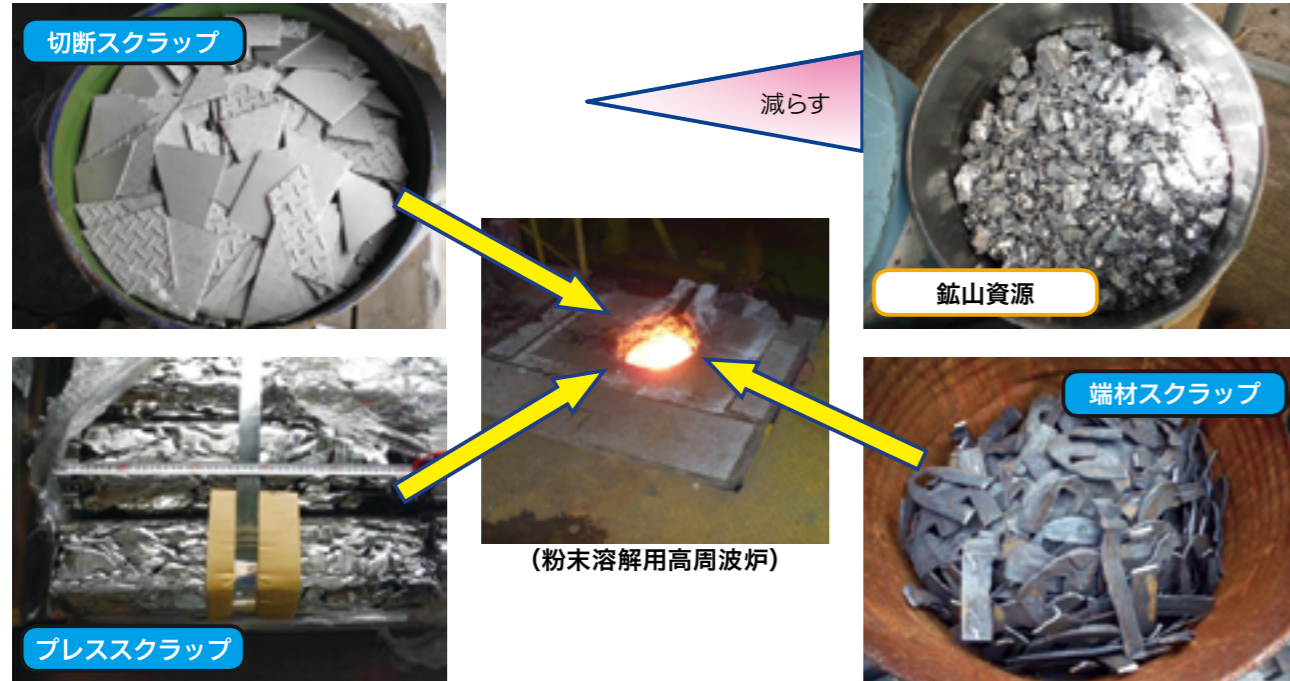


製鋼過程で発生するスラグ(鉍滓)は、リサイクルが難しいものでしたが、セメント原料としての再利用が可能となり、産業廃棄物を大幅に減らすことが出来ました。

廃棄物等の削減・再資源化

ステンレス溶解に占めるスクラップ比率の向上：広田製作所

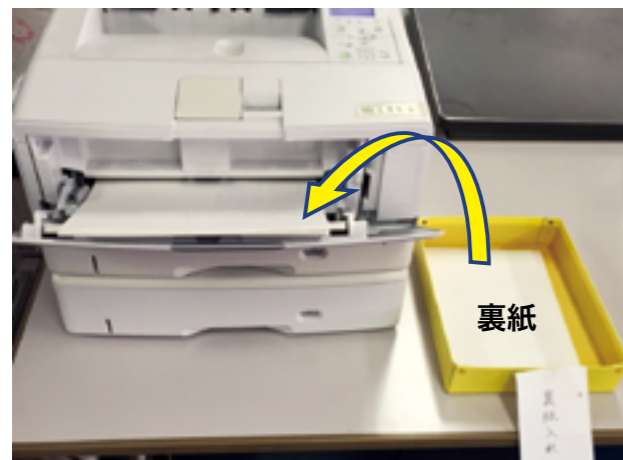
溶解材料のスクラップ割合を高め、鉍山資源の節約に努めています。



広田製作所では、ステンレス鋼等の金属粉末を製造していますが、原料であるニッケルやクロム等の鉍山資源の使用量を減らし、スクラップの使用量を増やすことで省資源とリサイクルに取り組んでいます。

コピー用紙使用量の削減：本社

本社では、裏紙の利用、手差しによる給紙、電子化によるペーパーレス会議の推進などにより、節約意識の向上を図り、紙使用量の削減に努めています。



裏紙を手差しで給紙することにより、安易なプリントアウトを防止し、紙節約の意識の向上を図っています。目標値：前年度比1%減



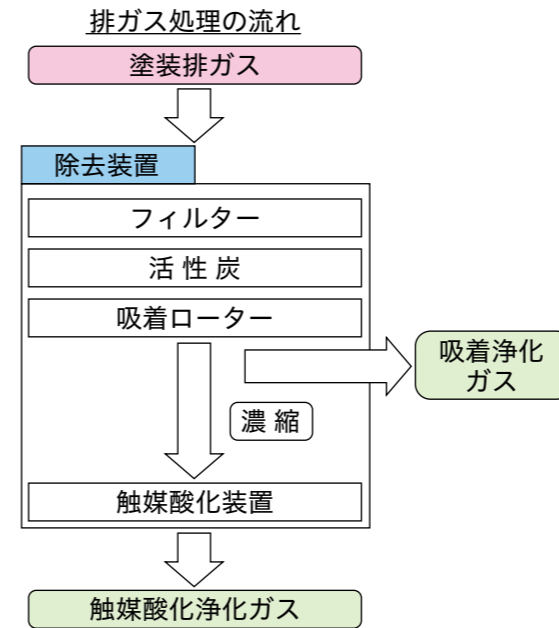
先輩方がエコ活動されているのを見て、私も資源節約に努めようと思っています。2015年度新入社員 溝邊 奈瑠瀬

環境負荷物質の管理

環境負荷低減のため、事業活動に伴う環境影響を把握し、環境法規制の遵守に取り組んでいます。

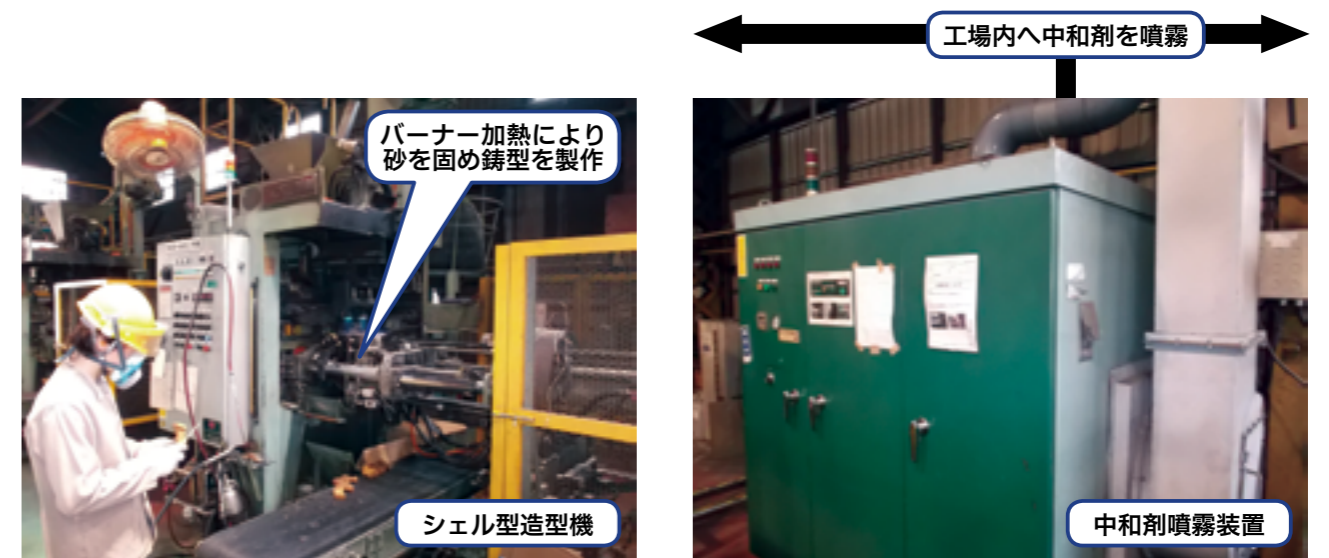
VOC除去装置：千葉製作所

光化学スモッグの原因の一つと考えられているVOC（揮発性有機化合物）を、専用設備により、吸着と触媒酸化の二段階で除去しています。



臭気除去装置：広田製作所

鑄型の製作中及び溶鋼の鑄込時に鑄型に含まれる樹脂から発生する臭気を中和剤で分解・消臭し、工場外への排出を防ぎ、工場内の作業環境も改善しています。





〒104-8550

東京都中央区晴海 3-2-22 (晴海パークビル)

TEL 03-3536-3111

<http://www.mitsubishisteel.co.jp>



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C022915



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。